

2024年3月期 決算説明会

2024年 5月 7日

株式会社ジェイテクト

実績

- **売上収益**は、新型コロナ影響の緩和や半導体不足による影響からの回復に加え、円安効果もあり**前年比増収**
- **事業利益**は、人への投資・先行開発等の「将来への投資」を実施しながら、増収影響・円安効果、原価改善活動の推進により **前年比増益**

業績予想

- 各地域における市場環境は先行き不透明だが、**売上収益 1兆 9,300億円、事業利益 750億円** とする
- 将来に向けた固定費を確保しながら、原価改善活動を加速して**前年比増益**

株主還元

- 2023年度の**期末配当は 20円** とする
(中間16円と合わせて、年間配当36円 配当性向 30.7%)
- 2024年度の**配当予想は 30円** とする
(中間15円・期末15円 配当性向 29.4%)

1. 2024年3月期 実績 P 4
2. 2025年3月期 通期業績予想 P 9
3. 第一期中計の振返り P 16
4. 参考資料 P 23

1-1) 実績 - 連結損益

- 売上収益は、コロナ・半導体不足の影響からの回復、および円安の効果等により増収
- 事業利益は、人への投資・先行開発等の「将来への投資」を着実に実行する中、増収影響や円安効果に加え、**原価改善活動を着実に推進したことにより増益**

()内は売上収益比

単位：億円

		23/3期 実績	24/3期 実績	増減額	増減率
売上収益		16,781	18,915	+2,133	+12.7%
事業利益	※1	(3.7%) 626	(3.9%) 728	+102	+16.3%
営業利益		(2.9%) 493	(3.3%) 621	+128	+26.1%
税引前利益		(3.3%) 558	(3.8%) 725	+166	+29.7%
当期利益	※2	(2.0%) 342	(2.1%) 402	+59	+17.4%
為替レート	USD	135.47円	144.62円	9.15円 円安	
	EUR	140.97円	156.80円	15.83円 円安	
1株当たり当期利益		99円94銭	117円37銭		

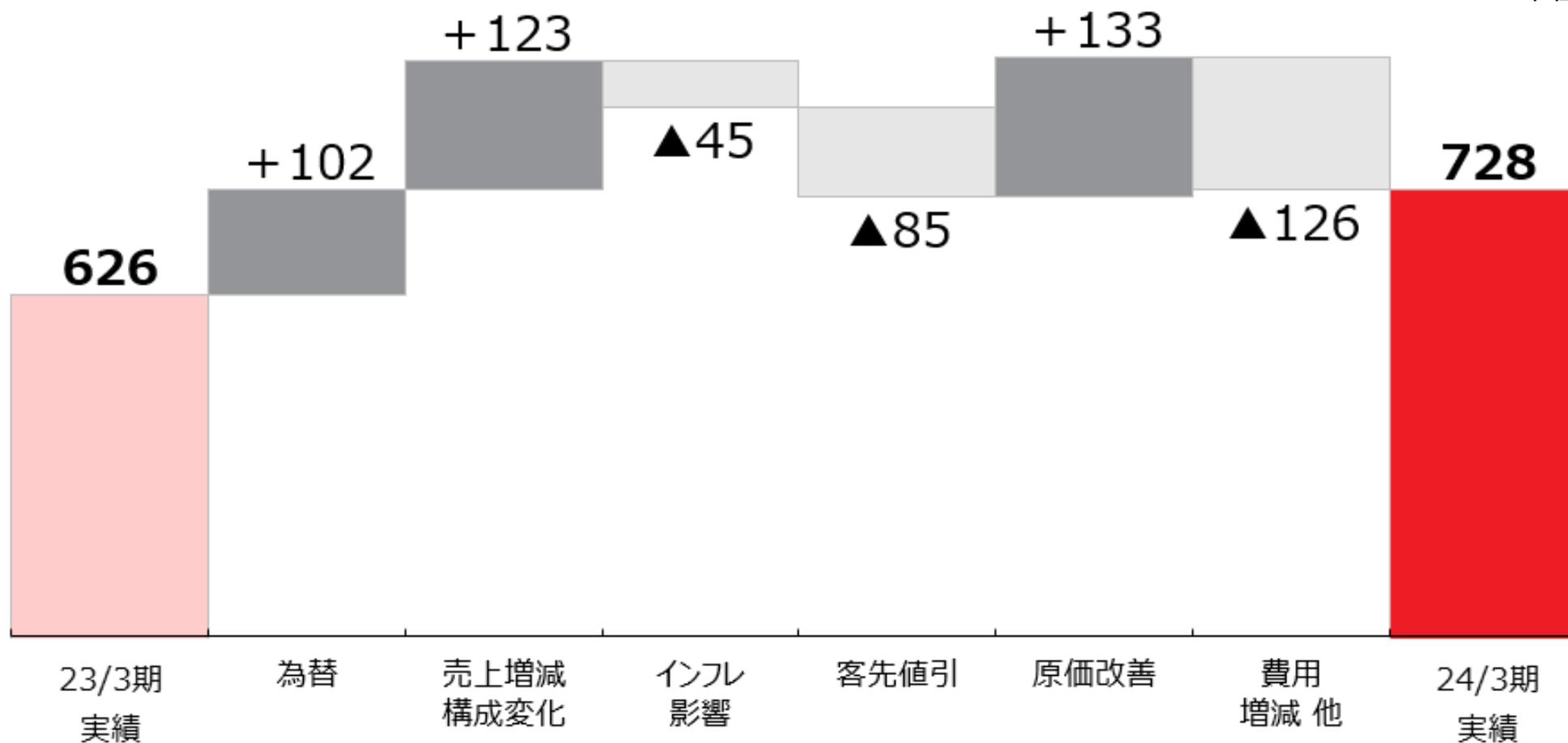
(※1) 「売上収益」から「売上原価」と「販売費および一般管理費」を控除した当社独自の管理利益

(※2) 親会社の所有者に帰属する当期利益

1-2) 実績 - 事業利益増減分析

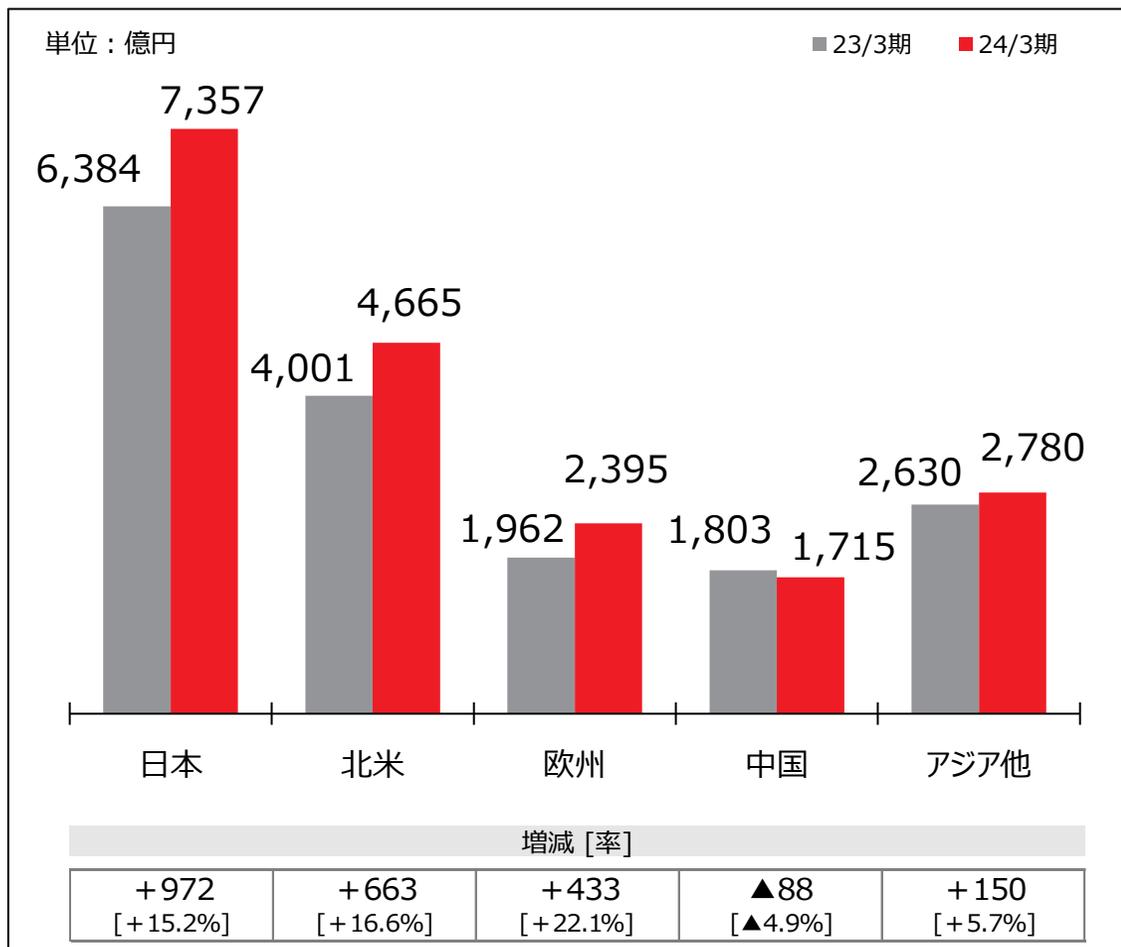
- インフレ影響・客先値引を原価改善で吸収
- 増収・円安効果の範囲内で、**将来への投資 (先行開発・売上拡大投資)** を実施して増益

単位：億円

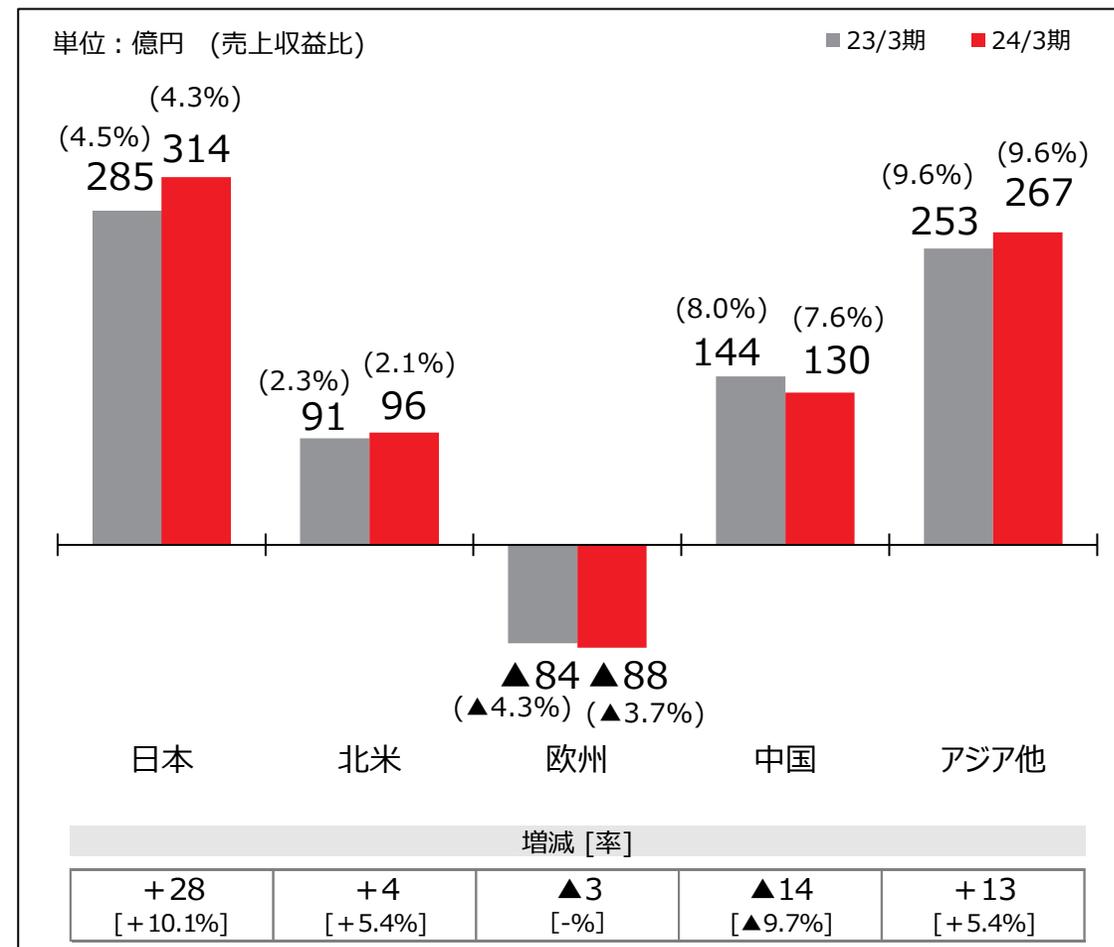


■ 中国を除く全地域で増収。原価改善の推進と円安効果で日本・北米・アジア他で増益

売上収益



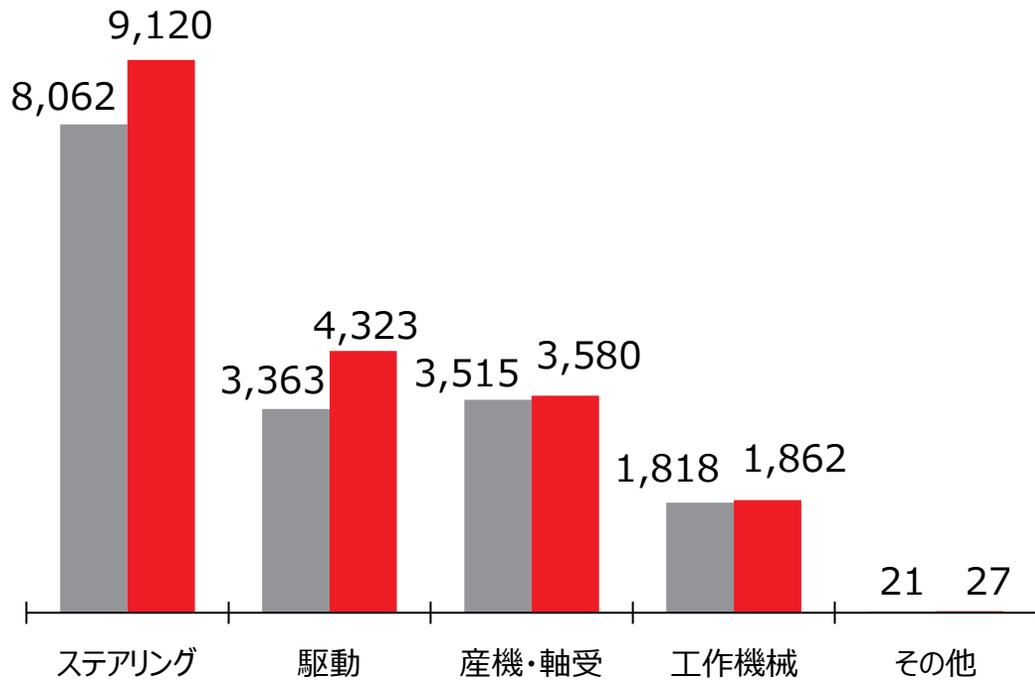
事業利益



■ 自動車は増収・原価改善・円安効果により**大幅増益**。産・軸は販売構成変化等により**減益**

売上収益

単位：億円 ■ 23/3期 ■ 24/3期

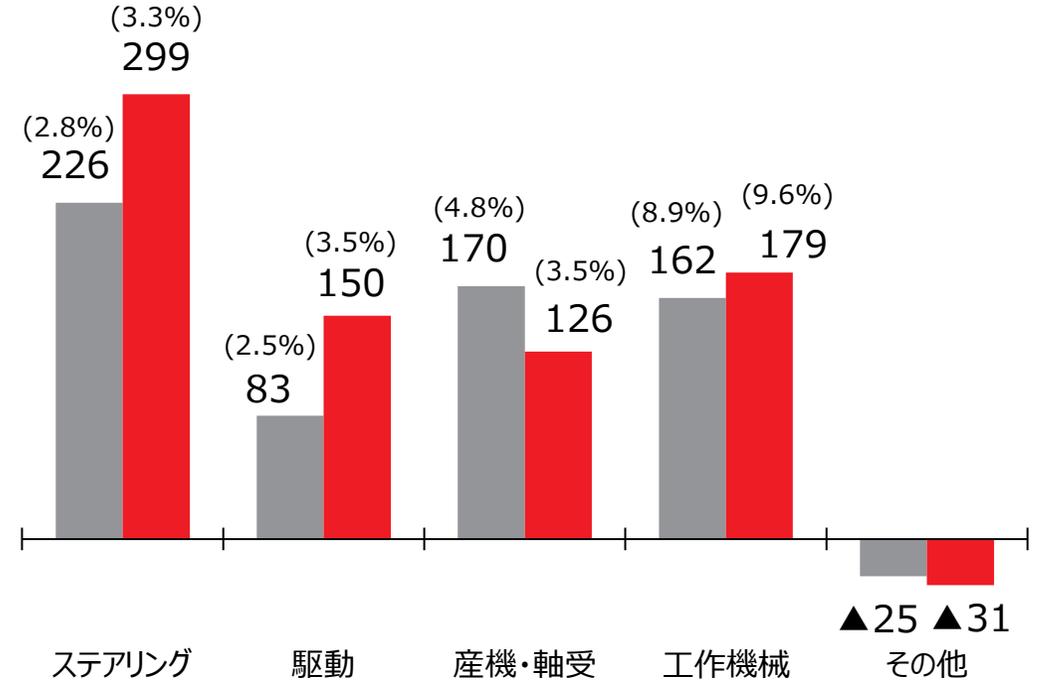


増減 [率]

+1,057	+959	+65	+44	+5
[+13.1%]	[+28.5%]	[+1.9%]	[+2.5%]	[+27.3%]

事業利益

単位：億円 (売上収益比) ■ 23/3期 ■ 24/3期



増減 [率]

+73	+67	▲43	+16	▲6
[+32.3%]	[+80.9%]	[▲25.6%]	[+10.1%]	[-%]

1. 2024年3月期 実績 P 4
2. 2025年3月期 通期業績予想 P 9
3. 第一期中計の振返り P 16
4. 参考資料 P 23

2-1) 予想 - 連結損益

- 各地域における市場環境は、依然として不透明
- 人への投資・先行開発等、「将来への投資」を着実に実行しながらも、原価改善活動を加速することで、前年比増益を見込む

()内は売上収益比

単位：億円

	24/3期 実績	25/3期 予想	増減額	%
売上収益	18,915	19,300	+384	+2.0%
事業利益 ※1	(3.9%) 728	(3.9%) 750	+21	+2.9%
営業利益	(3.3%) 621	(3.6%) 700	+78	+12.5%
税引前利益	(3.8%) 725	(3.5%) 685	▲ 40	▲ 5.5%
当期利益 ※2	(2.1%) 402	(1.8%) 350	▲ 52	▲ 13.1%
為替レート USD	144.62円	145.00円	0.38円 円安	
EUR	156.8円	160.00円	3.20円 円安	
1株当たり当期利益	117円37銭	102円04銭		

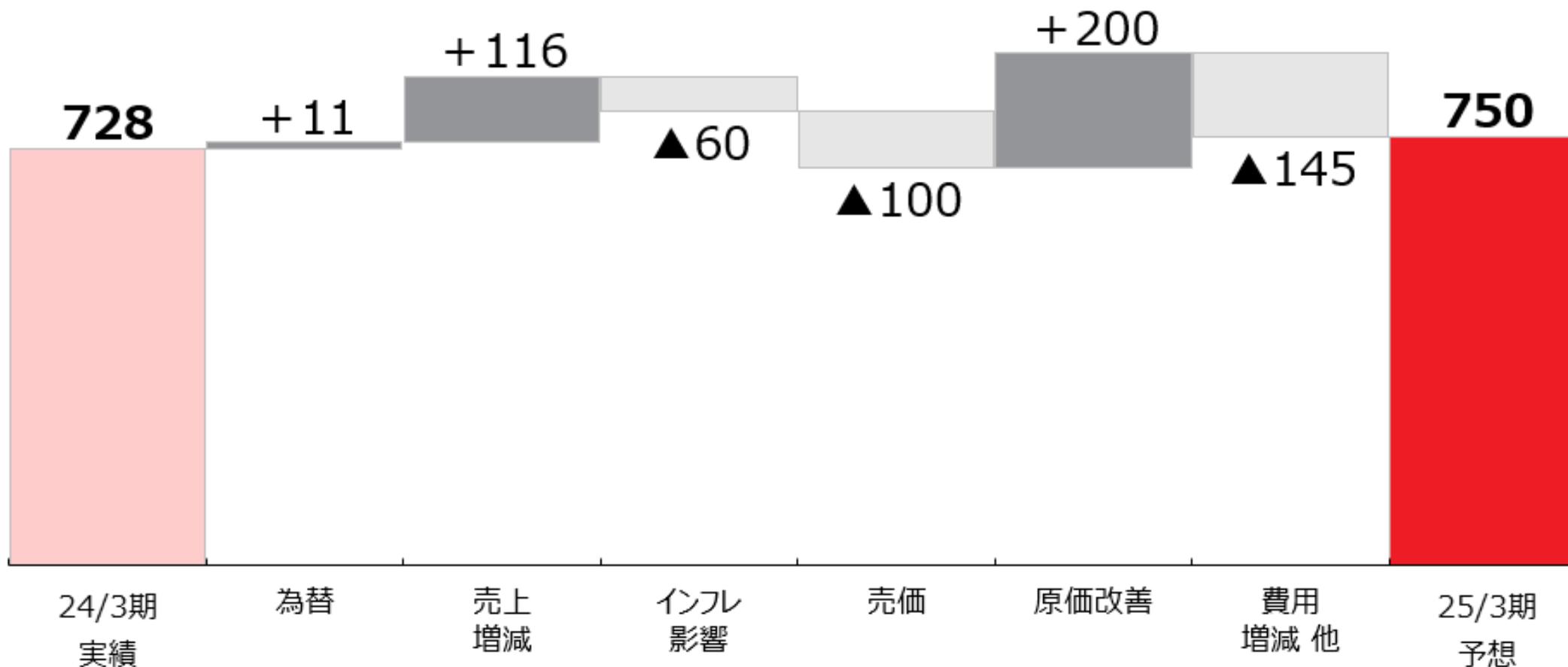
(※1) 「売上収益」から「売上原価」と「販売費および一般管理費」を控除した当社独自の管理利益

(※2) 親会社の所有者に帰属する当期利益

2-2) 予想 - 事業利益増減分析

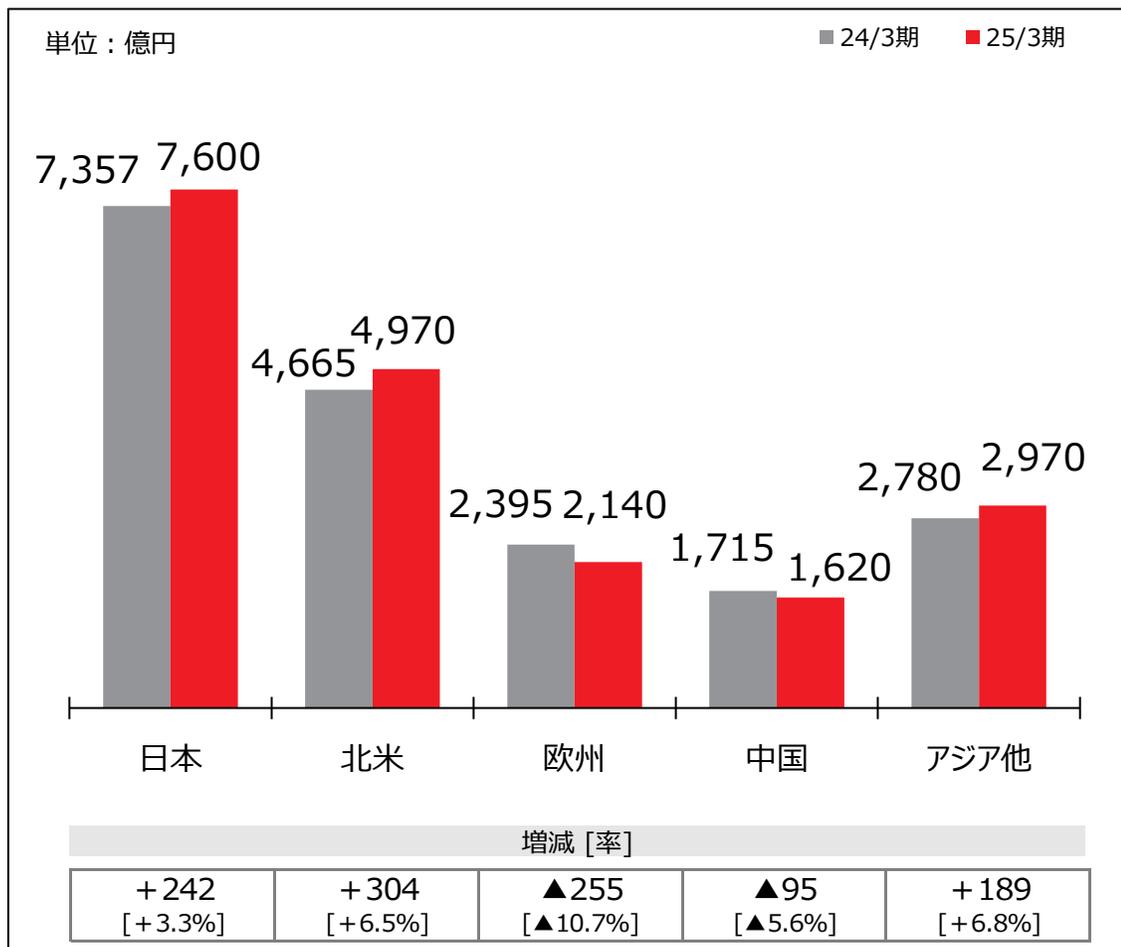
- インフレ影響・客先値引のマイナス影響を原価改善活動の効果等で吸収
- 「将来への投資」(人への投資・先行開発・売上拡大・ITなど) を実行する中でも増益

単位：億円

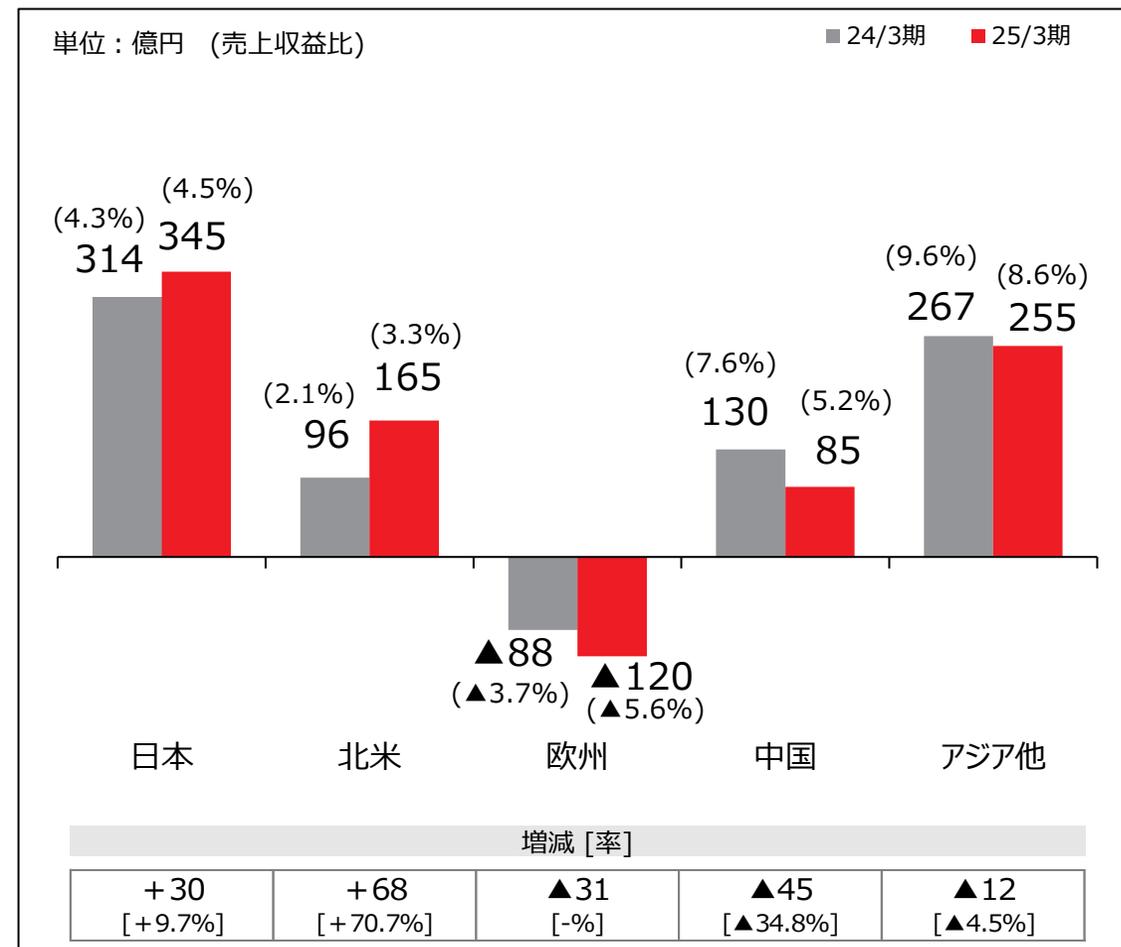


■ 売上が好調な日本・北米で増収増益。市場環境が厳しい欧州・中国・アジアは減益

売上収益



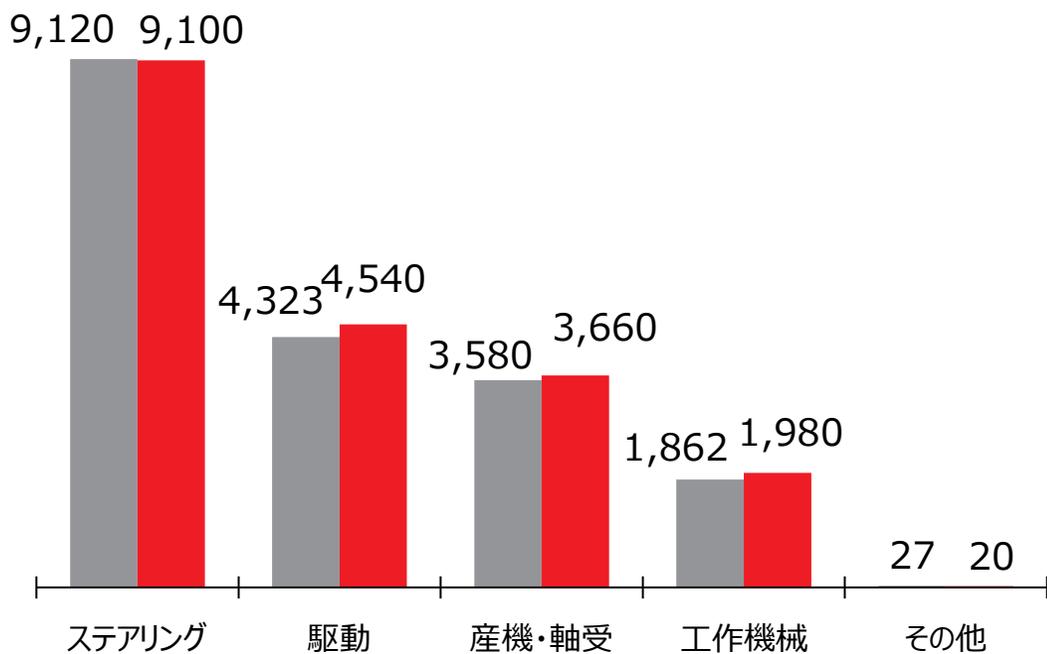
事業利益



■ 「将来への投資」のうち、先行開発・拡販に向けた固定費増が重なるステアリングは減益

売上収益

単位：億円 ■ 24/3期 ■ 25/3期

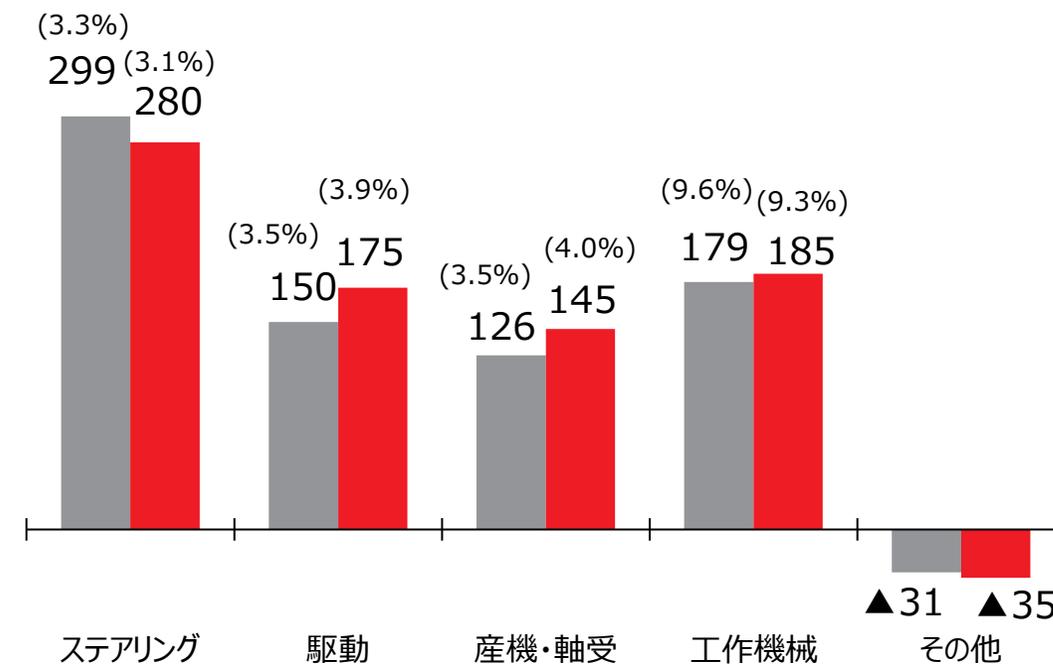


増減 [率]

▲20 [▲0.2%]	+216 [+5.0%]	+79 [+2.2%]	+117 [+6.3%]	▲7 [▲26.0%]
----------------	-----------------	----------------	-----------------	----------------

事業利益

単位：億円 (売上収益比) ■ 24/3期 ■ 25/3期

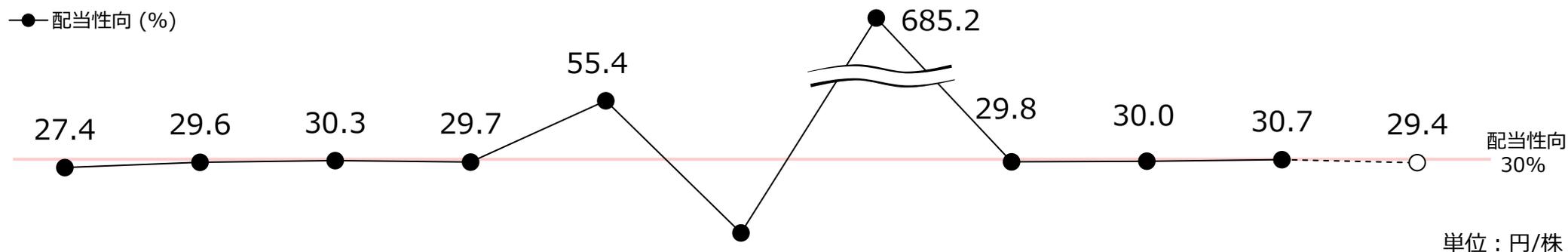


増減 [率]

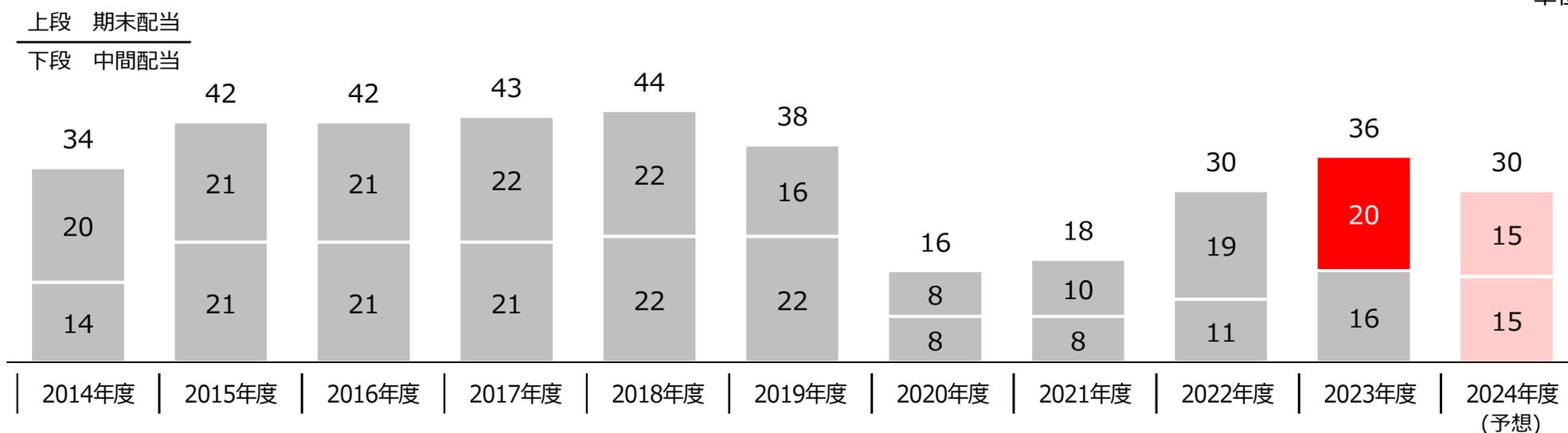
▲19 [▲6.6%]	+24 [+16.3%]	+18 [+14.3%]	+5 [+3.3%]	▲3 [-%]
----------------	-----------------	-----------------	---------------	------------

- 2023年度の配当は **年間 36円** (期末20円)
- 2024年度の配当予想は配当方針に則り、**年間 30円** (中間 15円・期末 15円) とする

配当性向

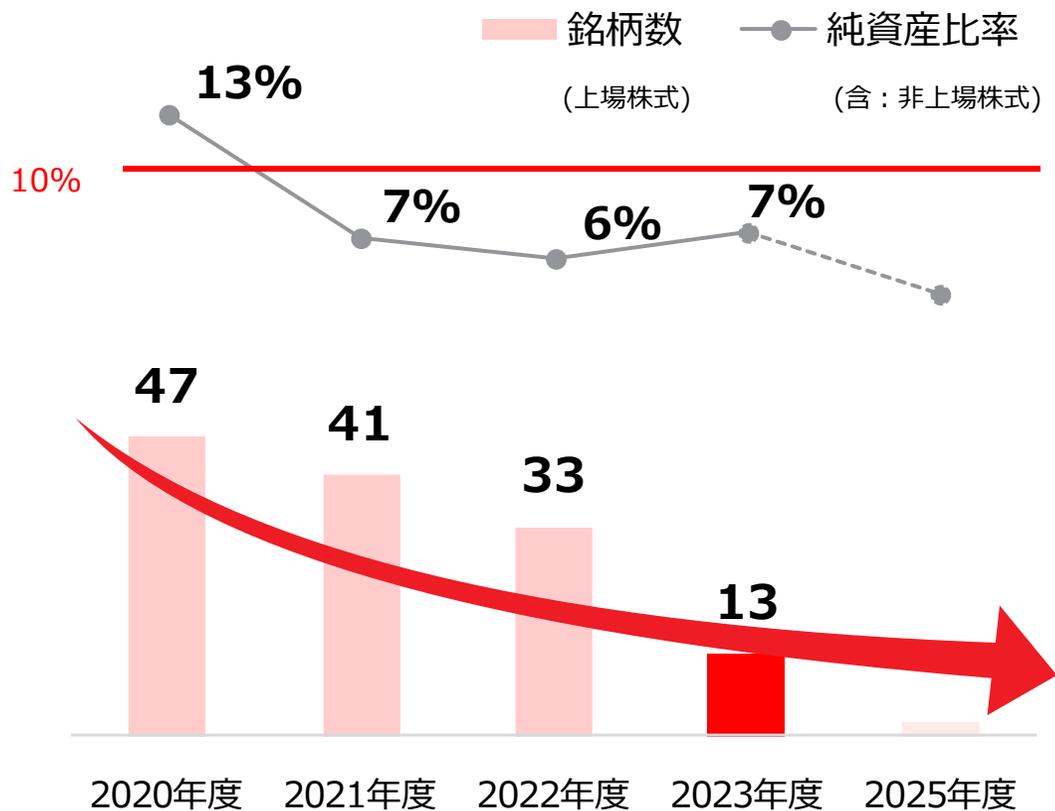


配当推移



- 財務の健全性確保を目的とし、財務方針に基づいて規律の効いた活動を推進
- 資本効率を意識して、「政策保有株式の売却・縮減」を着々と実施
 - ➔ 聖域を設けず、**政策保有株式のゼロ化に向けて縮減を継続・加速**

政策保有株式の保有状況



2023年度の取組み

- ✓ **20銘柄** の売却を完了
- ✓ 大幅な株価上昇の中でも着実に銘柄数を減らし、純資産比率 **10%未満** をキープ
- ✓ 2024年度以降も縮減の活動を継続・加速

基本方針

**『政策保有株式：ゼロ』
に向けて聖域を設けず縮減**

1. 2024年3月期 実績 P 4
2. 2025年3月期 通期業績予想 P 9
3. 第一期中計の振返り P 16
4. 参考資料 P 23

- グループ全体に「損益分岐点の改善」を重要KPIとして浸透させ、着実に改善活動を遂行
- 急激なインフレ・環境変化の中、積極的な“将来投資”を実施

■ 取組み成果 -できたこと-

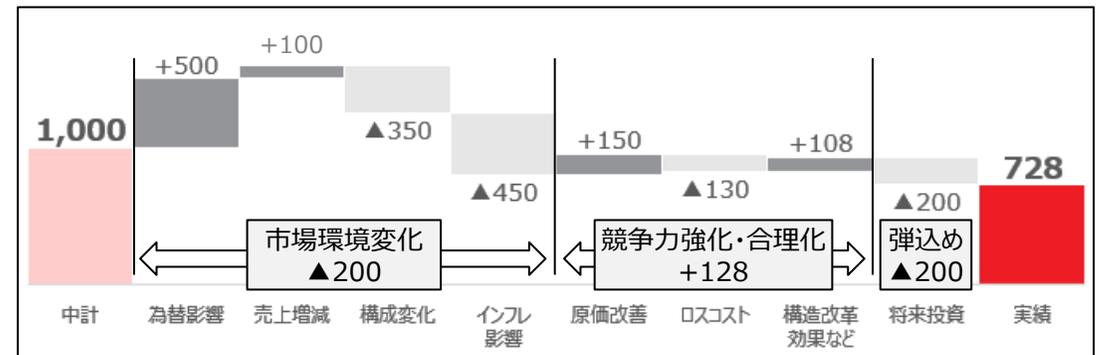
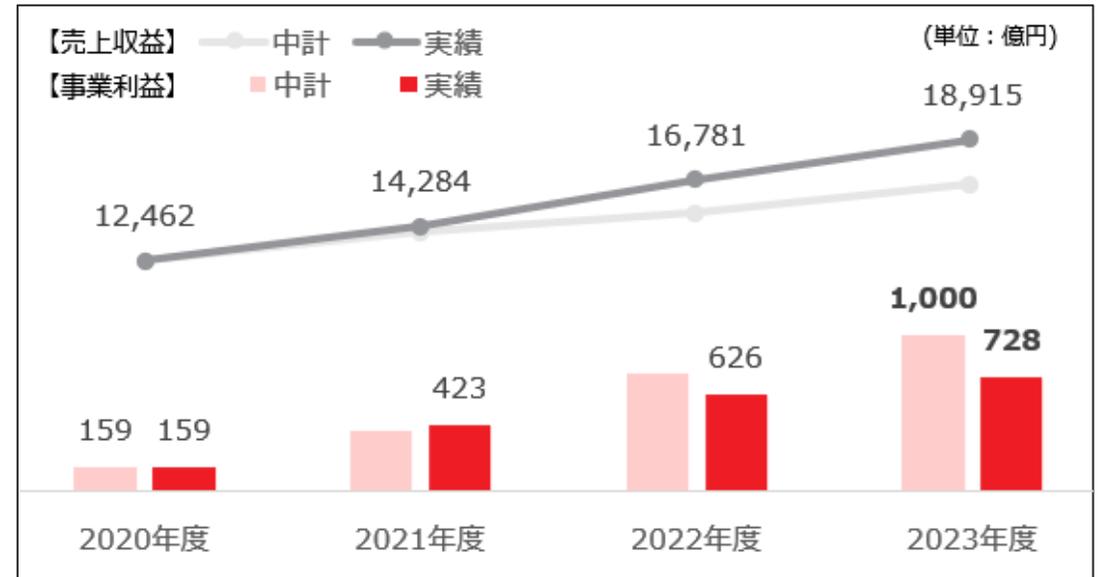
- ✓ 黒字化定着(年輪経営は達成)
- ✓ ベンチマークによる競争力強化
- ✓ 会社統廃合の推進による固定費圧縮
- ✓ グループ連携強化・シナジー創出(将来への種まき実行)

■ 積み残し課題 -できなかつたこと-

- ✓ 欧州/米国の構造改革
- ✓ ロスコスト(品質/エア便など)発生を抑えることができなかった

■ 想定外の市場環境変化

- ✓ マーケットチェンジ (EVシフト加速、中国/産機市場の低迷)
- ✓ 急激なインフレ (材料、エネルギー、物流費など)
- ✓ 想定以上の円安進行 (損益：プラス、資産効率:マイナス)



- 拠点統廃合を含む構造改革は計画通り進捗し、固定費削減に大きく寄与
- 北米を中心に人員不足起因で発生しているロスコストは、抜本的構造改革で対応

拠点統廃合

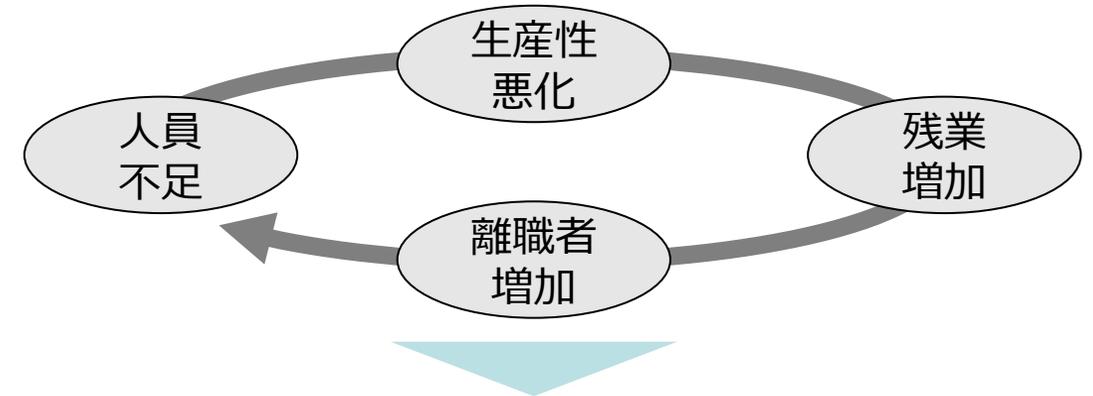
- ✓ 機能統合、人員適正化等により、固定費を削減

区分	会社数		
	20年3月末	24年3月末	(削減数)
国内	37社	27社	▲10社
海外	115社	92社	▲23社
合計	152社	119社	▲33社

- ✓ 直近では、24年3月にポンプ製造事業を売却（仏）
- ✓ 赤字継続の欧州は、第二期中計期間にもう一段の構造改革を実施

ロスコスト（北米の場合）

- ✓ コロナ禍を端緒として人員不足となり生産性悪化
⇒ ロスコスト発生（他地域からの生産支援、輸送費増）



北米(含むメキシコ)の抜本的構造改革を図る

- 他社ベンチマークや商談の振返りに基づき、強い製品開発に取り組み
- 無人化・省人化等の原価低減も徹底して行ってきた

次世代EPS

- ✓ 徹底したベンチマークを行い、他社を凌駕する製品の開発

『シンプル・スリム』をコンセプトに、設計・工程を抜本的に見直した次世代EPSを市場投入



無人化・省人化

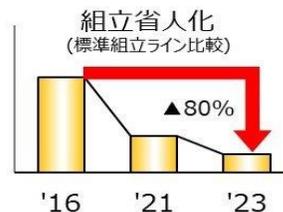
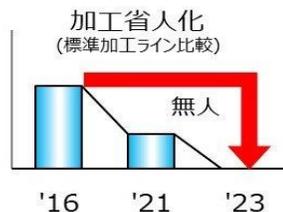
- ✓ 原価低減や人不足の課題から、各事業で、無人化・省人化の取り組みを実施

(例)RP-EPS*ラインでの実績

自動外観検査、組立ロボット等導入

→加工ライン: 無人化

組立ライン: ▲80%省人化



*RP-EPS: ラックパラレル式電動パワーステアリング

アフターの充実

- ✓ 製品ラインアップの拡充

- ・自動車市販品
HUB, 油圧PS, オイルポンプ等
順次アフター投入



- ・グループ商材
グループ営業本部も立上げ、
クロスセールス強化

競争力強化取り組みの結果 受注拡大、近い将来の収益向上を見込む

- サステナビリティ経営に向け、人的資本など経営基盤への投資を拡大
- 自動車の電動化・自動運転に向け、先行開発投資を強化

成長を支える投資

- ✓ **人への投資 (従業員の働きやすさ)**
→ 賃上げのほか、従業員の安全、福利厚生のための投資を拡充
- ✓ **カーボンニュートラル**
→ 社会・お客様からの要請が想定以上に加速回収も意識しながら投資を強化
- ✓ **DX**
→ お客様に求められる品質・スピードを確保するため仕事のやり方を抜本的に見直し

先行開発

- ✓ eAxleの部品メーカーとして“小型・軽量・低μ”な商品開発
- ✓ 自動運転に親和性の高いステア・バイ・ワイヤのデファクト化を狙う

J-EPICS*
(Steer-by-Wire)



*J-EPICS: JTEKT Electronics Performed Intelligent Control Steering

Pairdriver



Libuddy
(高耐熱リチウムイオンキャパシタ)

遊星減速キャリア一体JUCD*
*JTEKT Ultra Compact Diff



ハイポイドギヤ



JUEB*
*JTEKT Ultra Earth Bearing



JUCS*
*JTEKT Ultra Compact Seal



成果の刈取りをしっかりと行っていく

- ジェイテクトの基本理念を実践できる人づくり・仕組みづくりを時間をかけて推進(漢方薬的治療)
- 10年後、20年後もグループの全従業員が笑顔で安心して働ける会社へ

One JTEKT

過去

✓ 光洋精工と豊田工機の2社が
ただ同居している状態 (個別最適)

成果

✓ 事業部・グループ会社の壁を壊した
(ブランド統一、合同入社式など)

未来

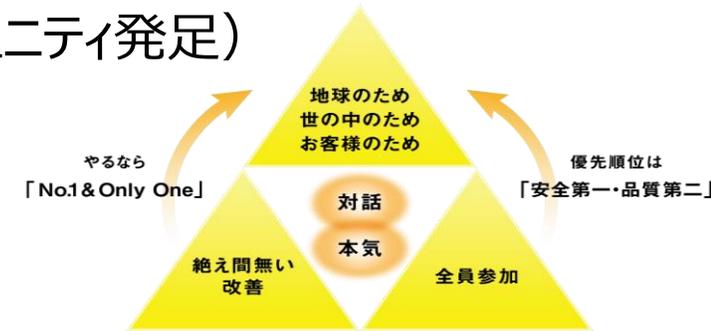
✓ 事業部・グループ会社間の
技術力とシーズを融合させシナジーを創出
(全体最適)

基本理念

✓ フォアキャスト、プロダクトアウト思考

✓ 「ジェイテクトの基本理念」を制定
✓ 一部で実践の具体化
(営業本部有志コミュニティ発足)

✓ バックキャスト、
マーケットインの定着



ジェイテクトの基本理念

これまでの成果を足がかりに更なる成長に向けて継続して取り組む

- 第二期中計は 8月下旬の発表を予定しておりますので、今しばらくお待ちください。



ジェイにゃん

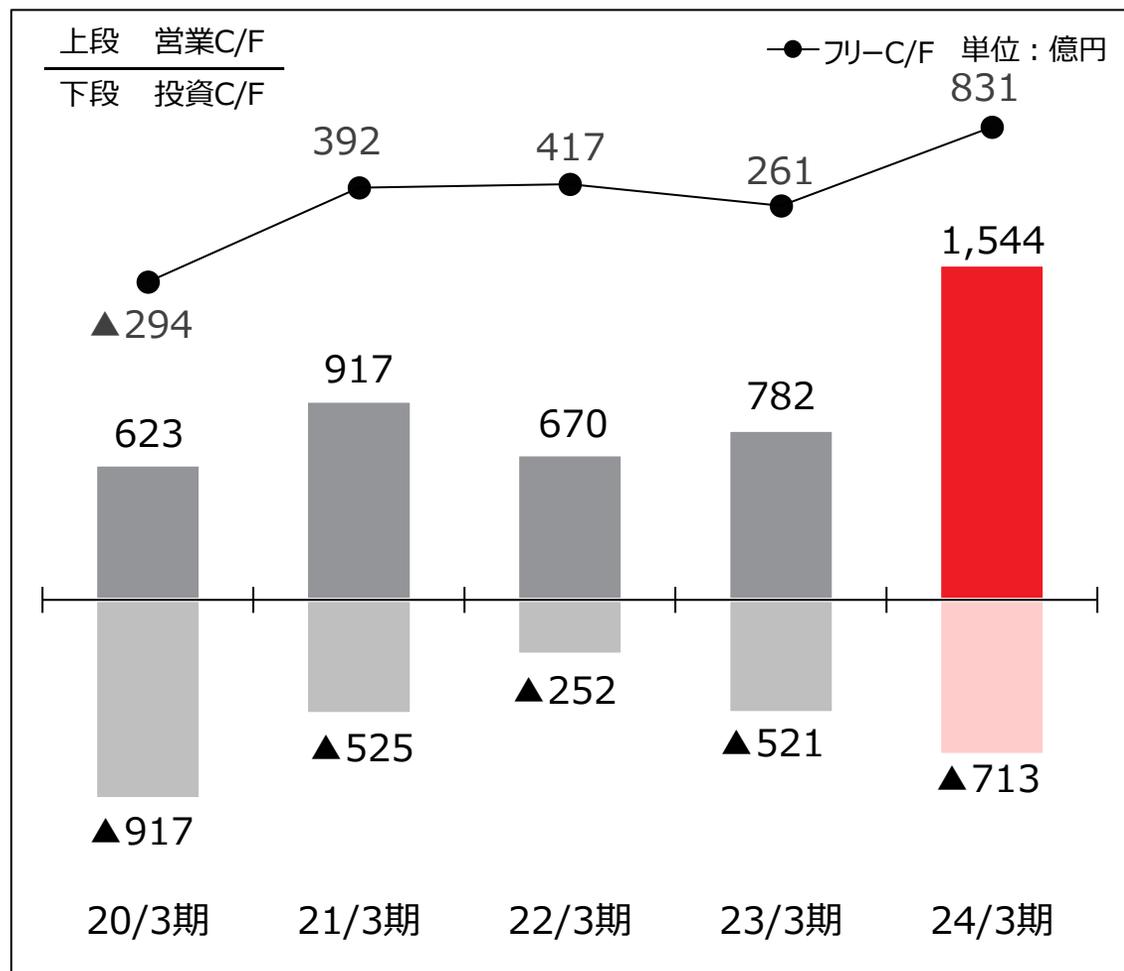


テクニャン

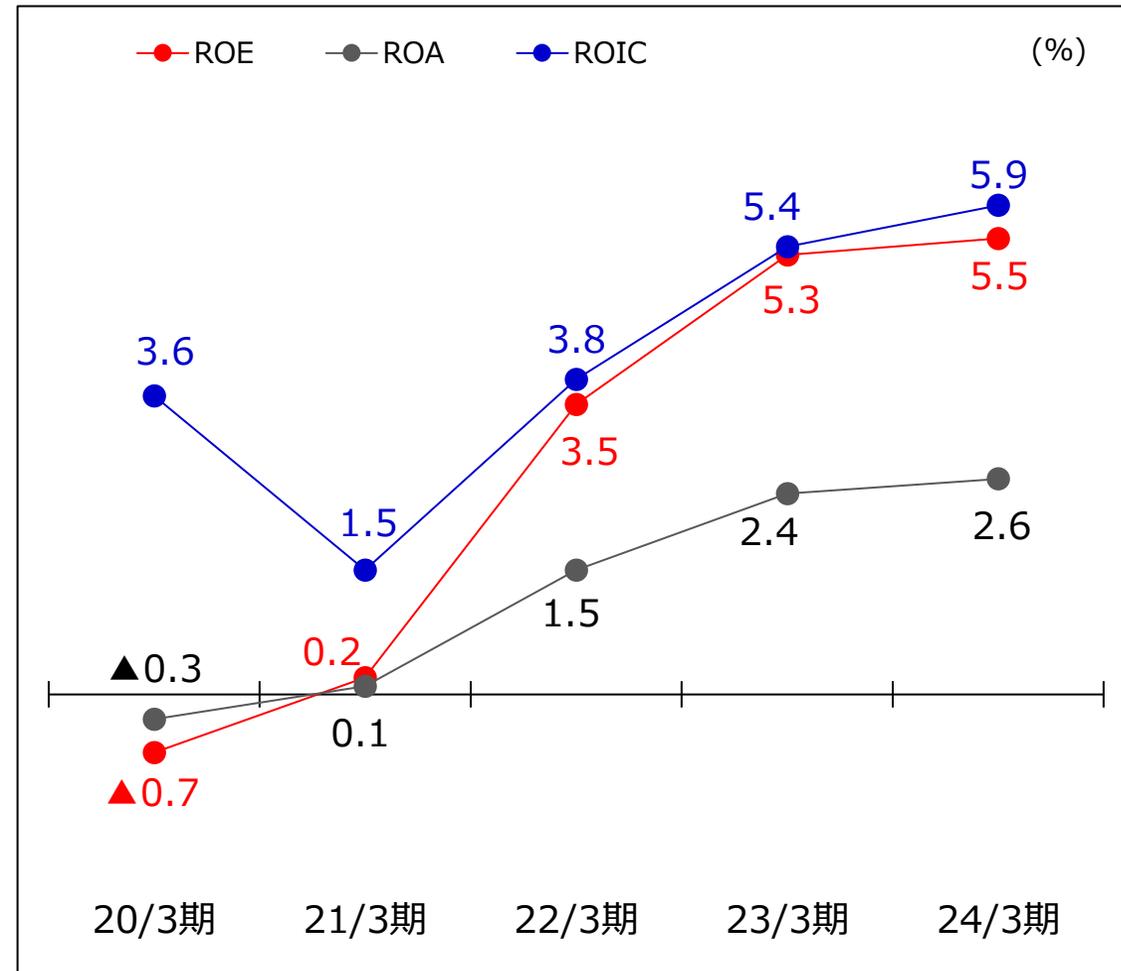
1. 2024年3月期 実績 P 4
2. 2025年3月期 通期業績予想 P 9
3. 第一期中計の振返り P 16
4. 参考資料 P 23

■ 増益を主因に、フリーC/Fは831億円。ROE・ROA・ROICともに前年から改善

キャッシュ・フロー

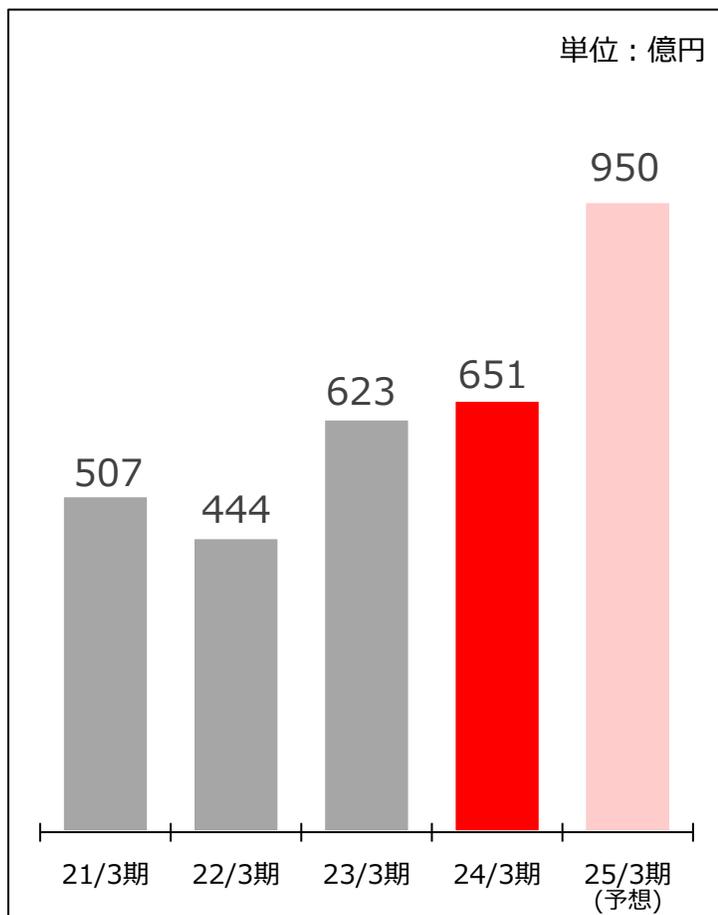


資本効率指標

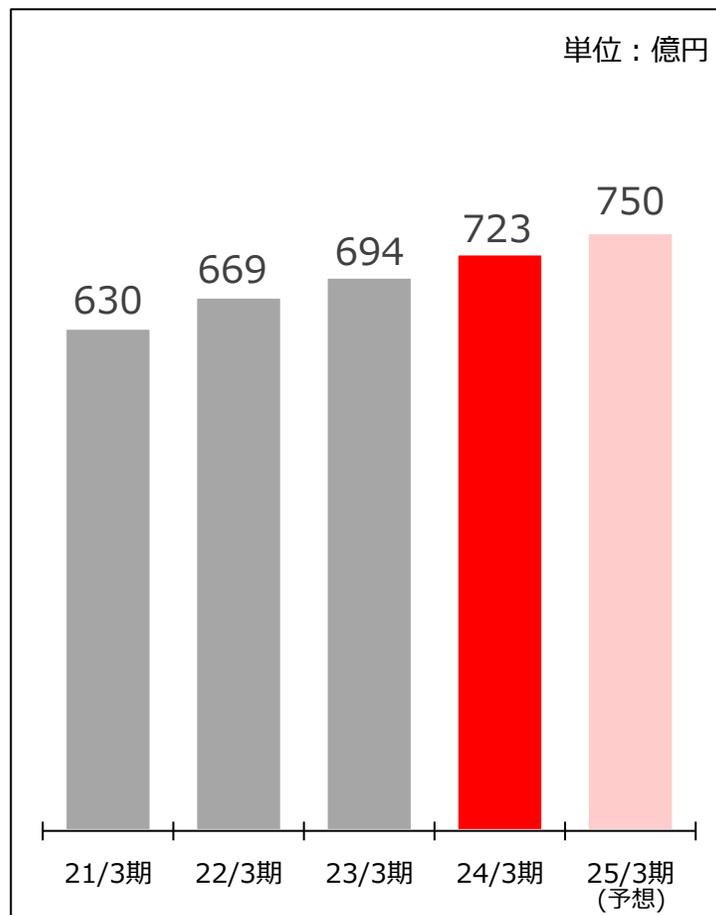


- 設備投資 : 成長を支える投資を積極的に実施 (新規事業/戦略製品、社会課題対応)
- 研究開発費 : 量産開発を効率化しつつ、先行開発を着実に推進して将来の効果に繋げる

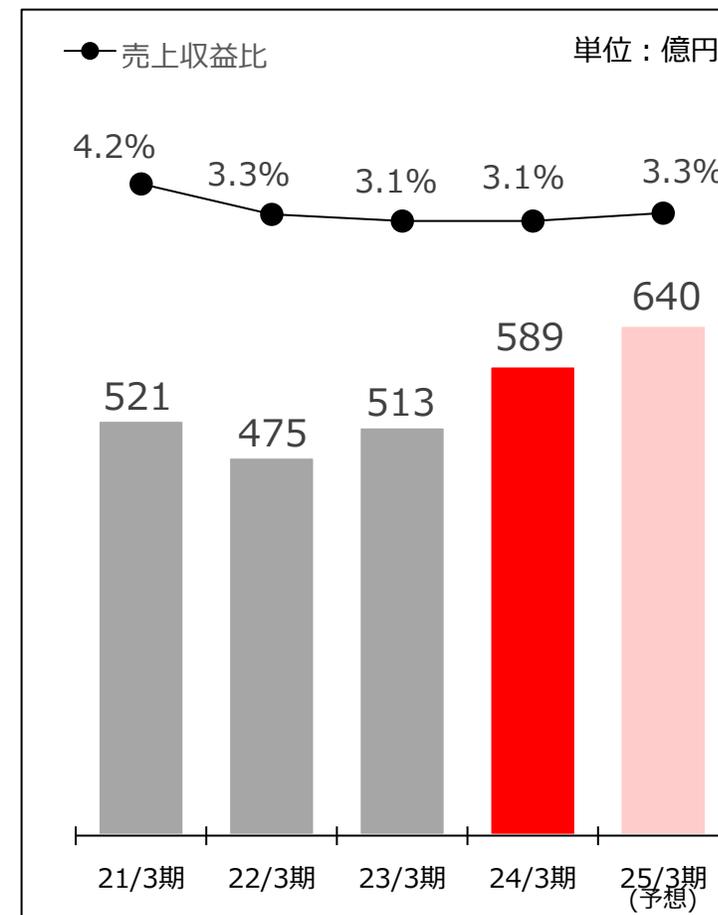
設備投資



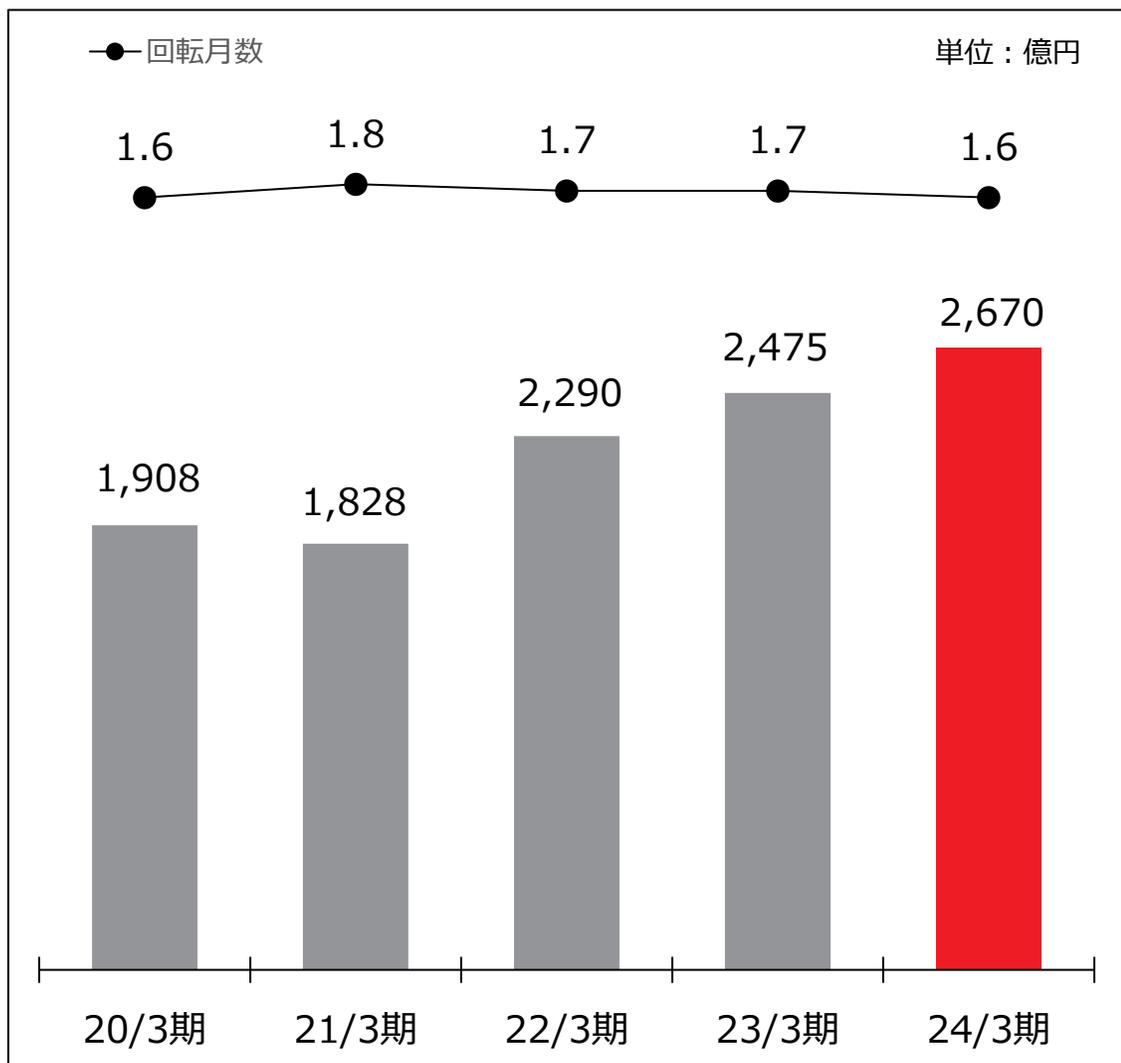
減価償却費



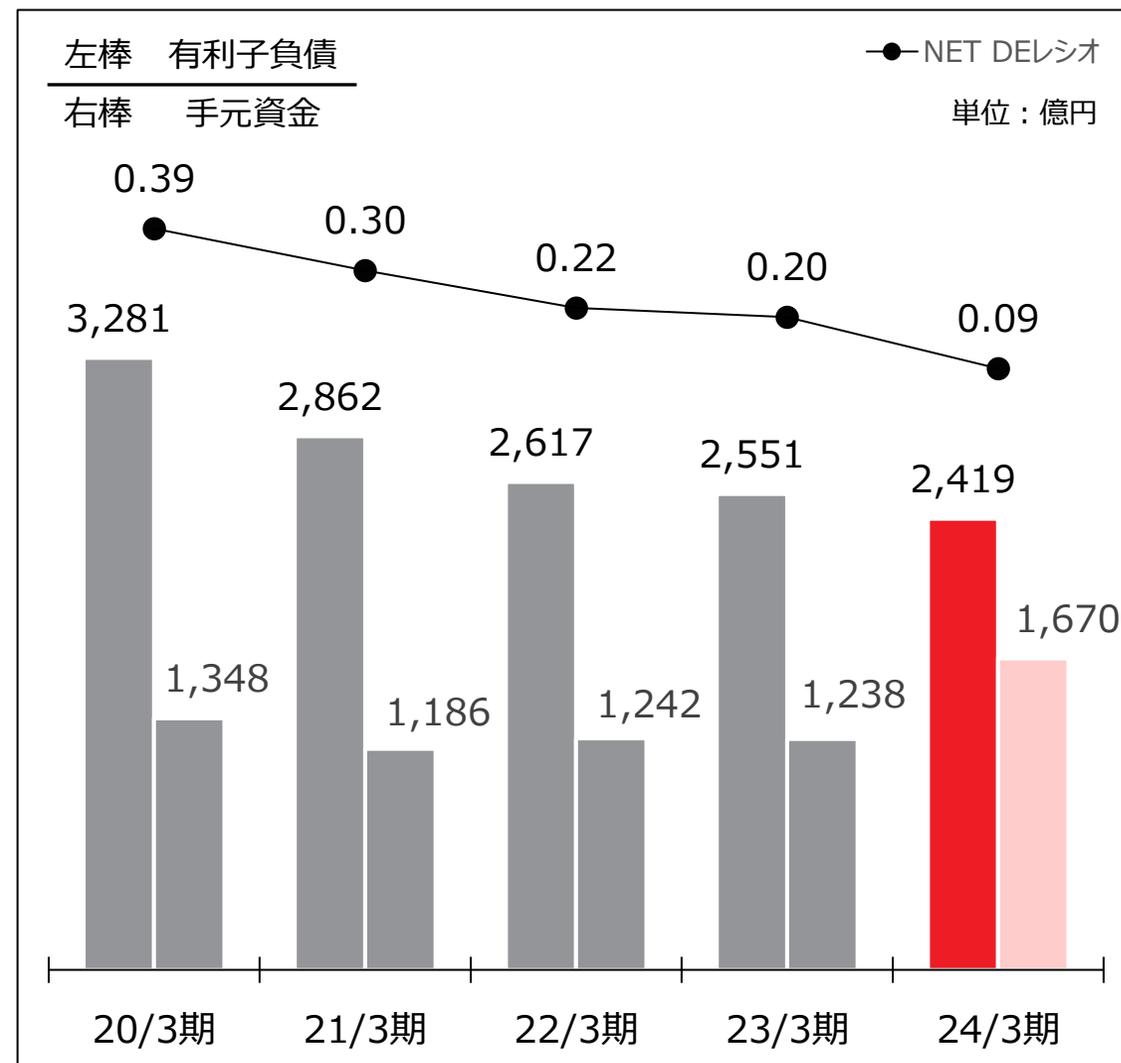
研究開発費



棚卸資産



有利子負債・手元資金



4-4-1) 財務諸表 - 連結財政状態計算書

資産

単位：億円

資産	23/3期	24/3期	増減額
現金及び 現金同等物	1,238	1,670	+431
営業債権及び その他の債権	3,503	3,601	+98
棚卸資産	2,475	2,670	+194
その他 流動資産	134	112	▲22
有形固定資産	4,669	4,764	+94
その他 非流動資産	2,390	3,466	+1,075
資産合計	14,413	16,285	+1,871

負債・資本

単位：億円

負債・資本	23/3期	24/3期	増減額
営業債務及び その他の債務	3,465	3,889	+423
有利子負債	2,551	2,419	▲132
その他 流動負債	336	321	▲14
その他 非流動負債	1,052	1,427	+374
自己資本	6,672	7,889	+1,217
非支配 株主持分	335	337	+2
負債・資本合計	14,413	16,285	+1,871

連結損益計算書

単位：億円

	23/3期	24/3期	増減額
売上収益	16,781	18,915	+2,133
事業利益	626	728	+102
その他 収益・費用	▲133	▲107	+26
営業利益	493	621	+128
金融収益 ・費用等	65	103	+37
法人所得税費用 ・非支配持分	▲216	▲322	▲106
親会社の所有者に 帰属する当期利益	342	402	+59

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：億円

	23/3期	24/3期	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	782	1,544	+761
投資活動による キャッシュ・フロー	▲521	▲713	▲192
フリー キャッシュ・フロー	261	831	+569
財務活動による キャッシュ・フロー	▲287	▲472	▲185
為替換算 差額等	21	72	+51
現金及び現金 同等物の増減額	▲4	431	+435
現金及び現金 同等物の残高	1,238	1,670	+431

4-5-1) 業績比較 - 実績 (所在地別)

単位：億円

売上収益

地域	23/3期	24/3期	増減		為替	24/3期 為替除く	実質増減	
日本	6,384	7,357	+972	+15.2%	-	7,357	+972	+15.2%
北米	4,001	4,665	+663	+16.6%	+332	4,332	+331	+8.3%
欧州	1,962	2,395	+433	+22.1%	+238	2,157	+195	+10.0%
中国	1,803	1,715	▲88	▲4.9%	+33	1,682	▲121	▲6.7%
アジア他	2,630	2,780	+150	+5.7%	+103	2,677	+47	+1.8%
合計	16,781	18,915	+2,133	+12.7%	+707	18,207	+1,425	+8.5%

事業利益

日本	285	314	+28	+10.1%	+83	230	▲54	▲19.2%
北米	91	96	+4	+5.4%	+8	88	▲3	▲3.8%
欧州	▲84	▲88	▲3	-%	▲7	▲80	+3	-%
中国	144	130	▲14	▲9.7%	+4	125	▲18	▲13.1%
アジア他	253	267	+13	+5.4%	+12	254	+1	+0.5%
消去	▲63	9	+72	-%	+0	9	+72	-%
合計	626	728	+102	+16.3%	+101	627	+0	+0.1%

4-5-2) 業績比較 - 実績 (事業別)

単位：億円

事業	23/3期	24/3期	増減		為替	24/3期 為替除く	実質増減	
ステアリング	8,062	9,120	+1,057	+13.1%	+414	8,705	+642	+8.0%
駆動	3,363	4,323	+959	+28.5%	+95	4,228	+864	+25.7%
自動車	11,426	13,444	+2,017	+17.7%	+509	12,934	+1,507	+13.2%
産機・軸受	3,515	3,580	+65	+1.9%	+130	3,450	▲64	▲1.8%
工作機械	1,818	1,862	+44	+2.5%	+67	1,795	▲23	▲1.3%
その他	21	27	+5	+27.3%	+0	27	+5	+27.3%
工作機械	1,839	1,889	+50	+2.7%	+67	1,822	▲17	▲0.9%
合計	16,781	18,915	+2,133	+12.7%	+707	18,207	+1,425	+8.5%

売上収益

ステアリング	226	299	+73	+32.3%	+46	253	+26	+11.9%
駆動	83	150	+67	+80.9%	+8	141	+58	+70.5%
自動車	309	450	+140	+45.3%	+54	395	+85	+27.6%
産機・軸受	170	126	▲43	▲25.6%	+33	93	▲76	▲45.0%
工作機械	162	179	+16	+10.1%	+13	165	+3	+1.9%
その他	▲25	▲31	▲6	-%	+0	▲31	▲6	-%
工作機械	137	147	+9	+7.1%	+13	133	▲3	▲2.7%
消去	8	4	▲4	▲49.5%	+0	4	▲4	▲49.5%
合計	626	728	+102	+16.3%	+101	627	+0	+0.1%

事業利益

4-6-1) 四半期ごとの業績推移 (所在地別)

単位：億円

2022年度	1Q (4月-6月)			2Q (7月-9月)			3Q (10月-12月)			4Q (1月-3月)		
	売上収益	事業利益		売上収益	事業利益		売上収益	事業利益		売上収益	事業利益	
日本	1,381	12	0.9%	1,640	98	6.0%	1,598	70	4.4%	1,763	103	5.9%
北米	893	▲10	▲1.2%	1,013	▲8	▲0.9%	961	0	0.1%	1,132	109	9.7%
欧州	442	▲31	▲7.1%	443	▲36	▲8.2%	496	▲22	▲4.5%	580	5	0.9%
中国	434	25	5.8%	540	56	10.4%	464	53	11.6%	364	9	2.5%
アジア他	565	47	8.4%	690	71	10.4%	682	66	9.7%	691	67	9.8%
消去		▲17			▲27			▲28			9	
合計	3,716	26	0.7%	4,328	154	3.6%	4,203	140	3.3%	4,532	305	6.7%

2023年度	1Q (4月-6月)			2Q (7月-9月)			3Q (10月-12月)			4Q (1月-3月)		
	売上収益	事業利益		売上収益	事業利益		売上収益	事業利益		売上収益	事業利益	
日本	1,728	28	1.7%	1,957	142	7.3%	1,961	100	5.1%	1,710	43	2.5%
北米	1,110	47	4.2%	1,138	▲5	▲0.5%	1,145	30	2.7%	1,271	24	1.9%
欧州	559	▲29	▲5.3%	499	▲45	▲9.1%	603	▲11	▲1.9%	733	▲2	▲0.3%
中国	441	31	7.0%	433	29	6.8%	489	50	10.3%	351	19	5.5%
アジア他	616	43	7.1%	737	67	9.1%	696	78	11.2%	730	77	10.7%
消去		18			▲12			▲17			20	
合計	4,456	139	3.1%	4,765	175	3.7%	4,895	230	4.7%	4,796	183	3.8%

4-6-2) 四半期ごとの業績推移 (事業別)

単位：億円

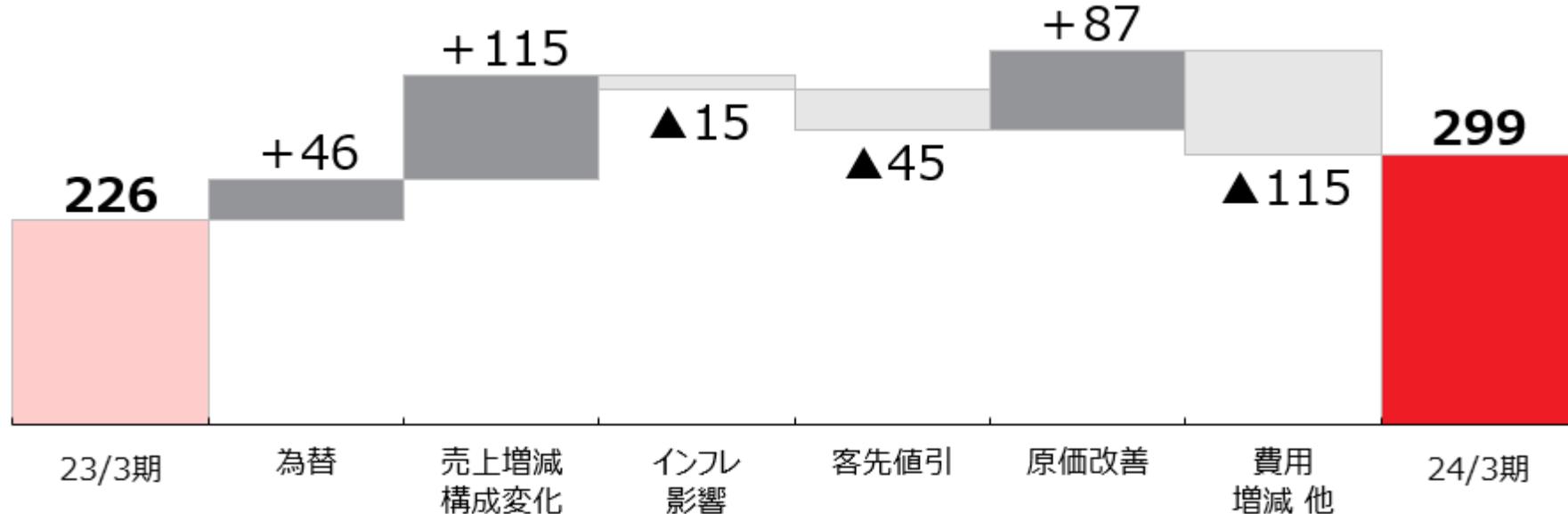
2022年度	1Q (4月-6月)		2Q (7月-9月)		3Q (10月-12月)		4Q (1月-3月)	
	売上収益	事業利益	売上収益	事業利益	売上収益	事業利益	売上収益	事業利益
ステアリング	1,770	▲34 ▲1.9%	2,059	48 2.4%	2,025	56 2.8%	2,207	155 7.0%
駆動	819	8 1.0%	790	16 2.1%	829	5 0.6%	924	52 5.7%
自動車	2,589	▲26 ▲1.0%	2,850	65 2.3%	2,854	62 2.2%	3,132	208 6.6%
産機・軸受	763	30 4.0%	973	40 4.1%	882	37 4.3%	895	61 6.9%
工作機械	358	24 6.8%	500	50 10.1%	460	43 9.5%	498	43 8.8%
その他	4	▲5	4	▲5	5	▲5	6	▲8
工作機械	362	19 5.3%	504	45 8.9%	466	38 8.2%	505	35 6.9%
消去		2		3		2		0
合計	3,716	26 0.7%	4,328	154 3.6%	4,203	140 3.3%	4,532	305 6.7%

2023年度	1Q (4月-6月)		2Q (7月-9月)		3Q (10月-12月)		4Q (1月-3月)	
	売上収益	事業利益	売上収益	事業利益	売上収益	事業利益	売上収益	事業利益
ステアリング	2,151	54 2.5%	2,231	70 3.2%	2,367	98 4.2%	2,370	76 3.2%
駆動	980	23 2.4%	1,135	27 2.4%	1,160	66 5.7%	1,047	33 3.2%
自動車	3,131	78 2.5%	3,366	97 2.9%	3,527	164 4.7%	3,418	110 3.2%
産機・軸受	897	32 3.6%	912	43 4.8%	890	20 2.3%	880	30 3.5%
工作機械	421	34 8.2%	483	43 9.0%	472	51 10.8%	485	49 10.3%
その他	5	▲7	2	▲7	4	▲7	13	▲9
工作機械	427	27 6.5%	486	35 7.4%	477	43 9.1%	498	40 8.1%
消去		1		▲1		2		2
合計	4,456	139 3.1%	4,765	175 3.7%	4,895	230 4.7%	4,796	183 3.8%

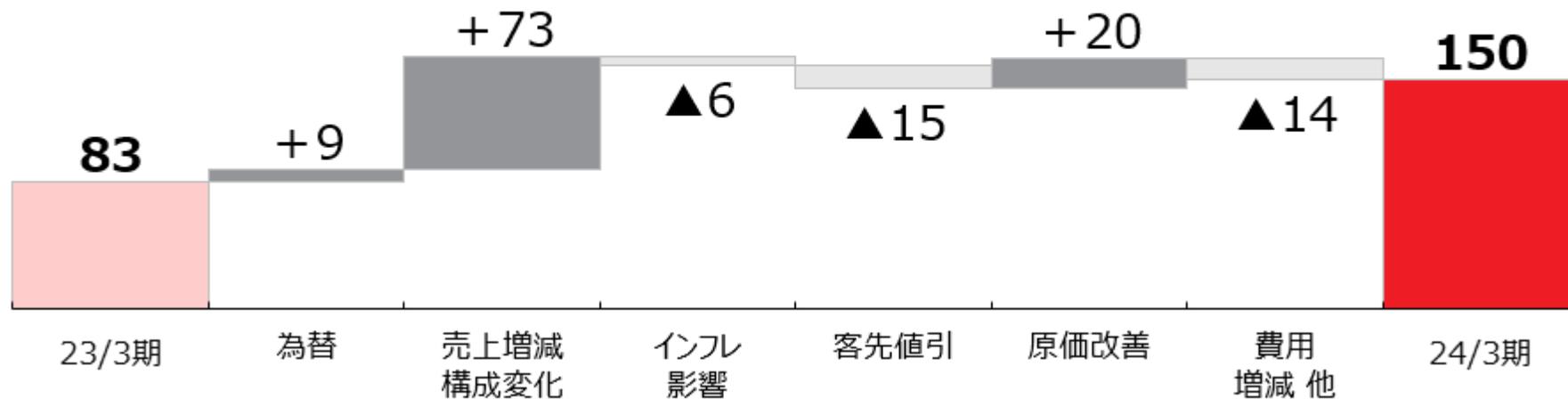
4-7-1) 事業利益増減分析 - 事業別 (ステアリング/駆動)

単位：億円

ステアリング

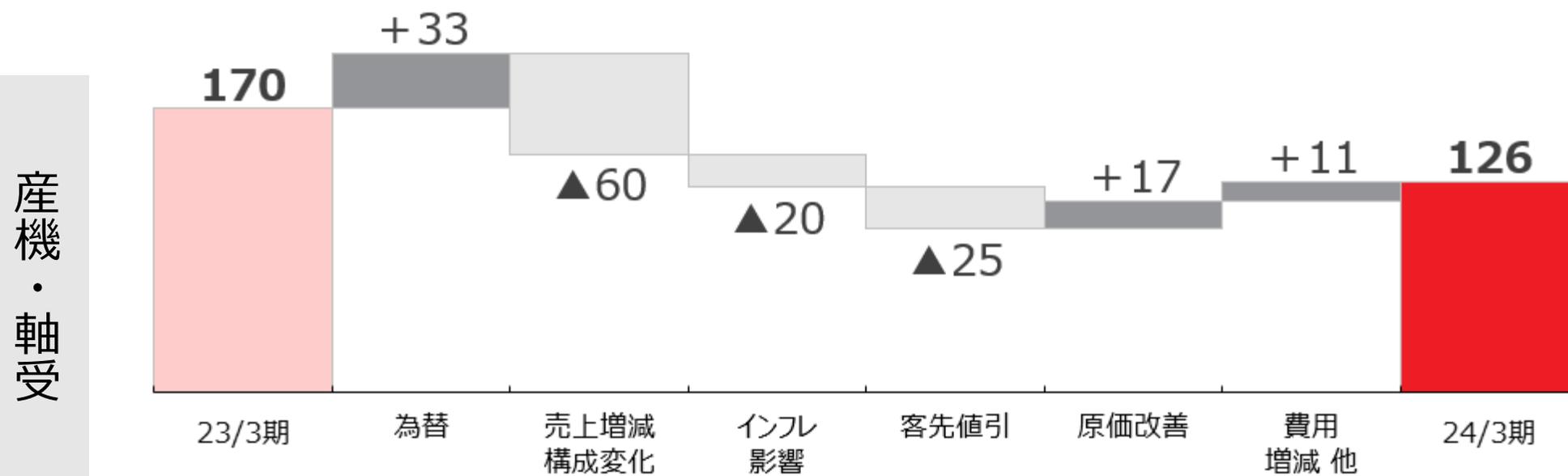


駆動

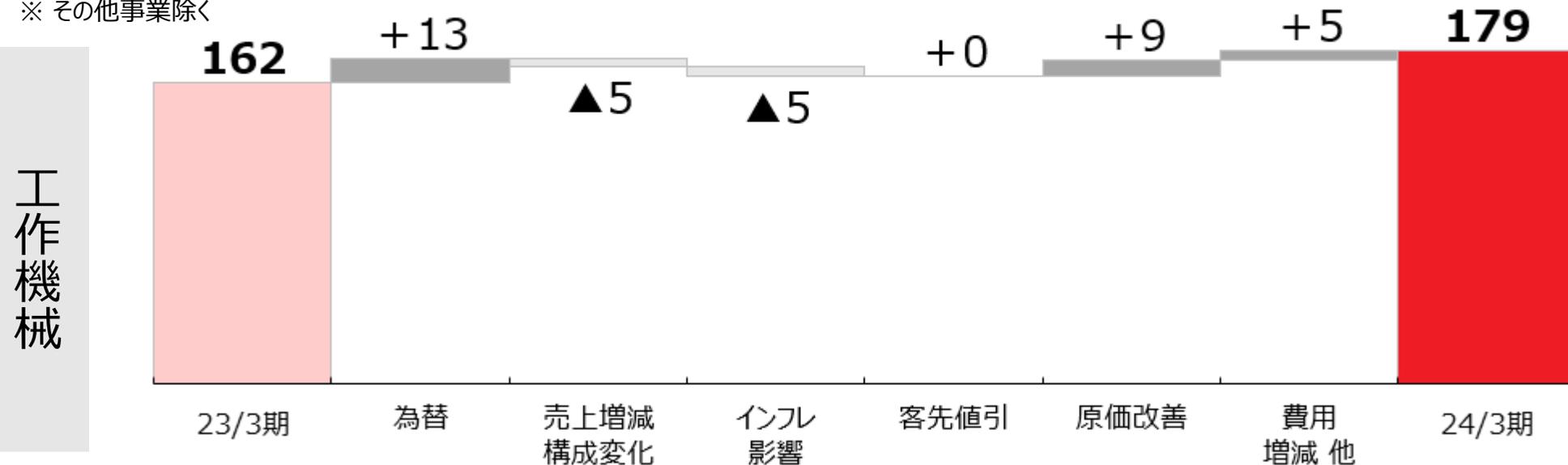


4-7-2) 事業利益増減分析 - 事業別 (産機・軸受/工作機械)

単位：億円



※ その他事業除く



4-8-1) 業績比較 - 予想 (所在地別)

単位：億円

地域	24/3期	25/3期	増減		為替	25/3期 為替除く	実質増減	
日本	7,357	7,600	+242	+3.3%	-	7,600	+242	+3.3%
北米	4,665	4,970	+304	+6.5%	+19	4,951	+285	+6.1%
欧州	2,395	2,140	▲255	▲10.7%	▲5	2,145	▲250	▲10.5%
中国	1,715	1,620	▲95	▲5.6%	▲9	1,629	▲86	▲5.1%
アジア他	2,780	2,970	+189	+6.8%	▲52	3,022	+241	+8.7%
合計	18,915	19,300	+384	+2.0%	▲50	19,350	+434	+2.3%
日本	314	345	+30	+9.7%	+16	329	+14	+4.6%
北米	96	165	+68	+70.7%	+2	163	+66	+68.6%
欧州	▲88	▲120	▲31	-%	▲1	▲119	▲30	-%
中国	130	85	▲45	▲34.8%	▲1	86	▲44	▲34.0%
アジア他	267	255	▲12	▲4.5%	▲5	260	▲7	▲2.7%
消去	9	20	+10	-%	+0	20	+10	-%
合計	728	750	+21	+2.9%	+11	739	+10	+1.4%

売上収益

事業利益

4-8-2) 業績比較 - 予想 (事業別)

単位：億円

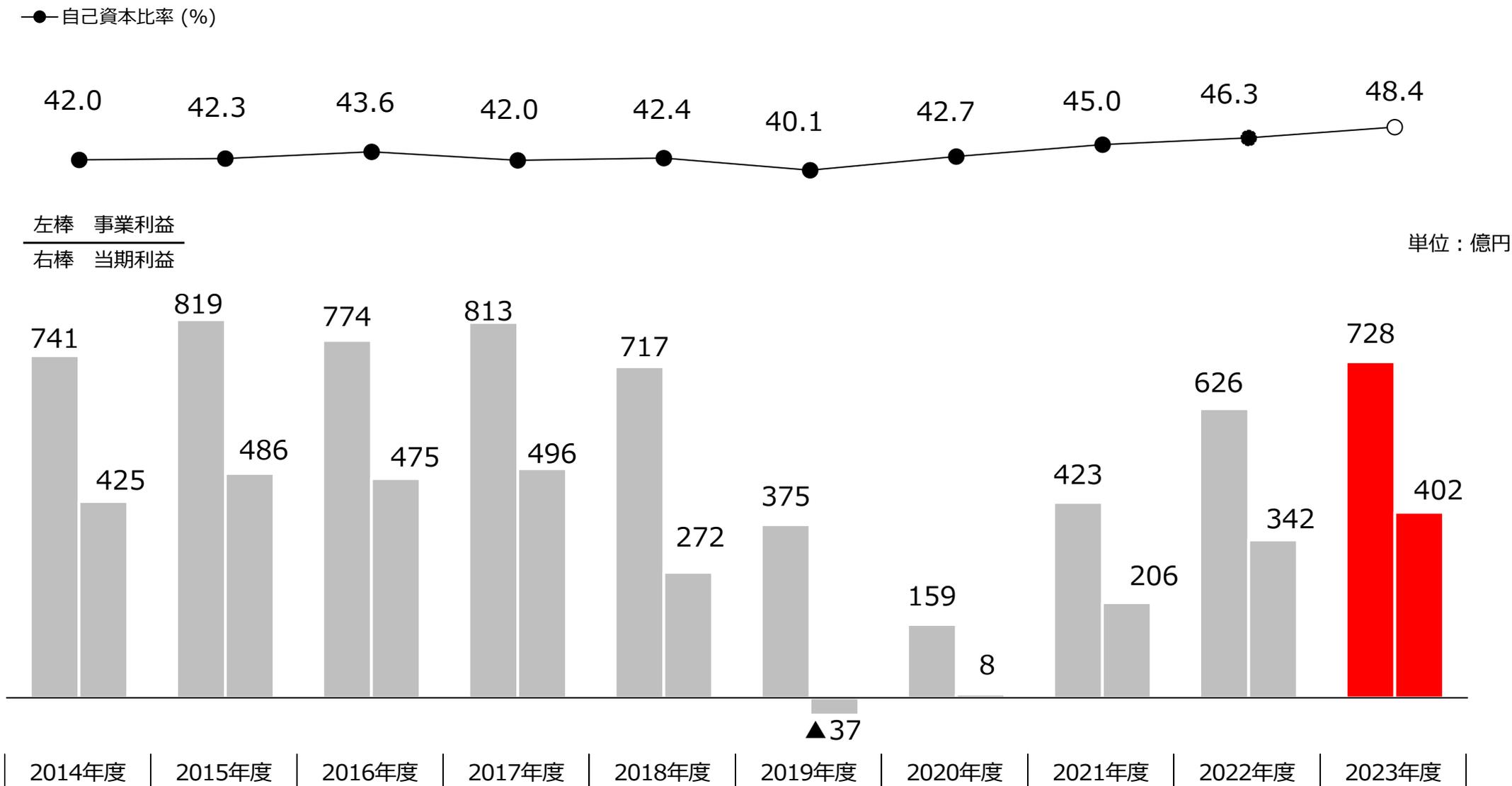
事業	24/3期	25/3期	増減		為替	25/3期 為替除く	実質増減	
ステアリング	9,120	9,100	▲20	▲0.2%	▲50	9,150	+29	+0.3%
駆動	4,323	4,540	+216	+5.0%	▲4	4,544	+220	+5.1%
自動車	13,444	13,640	+195	+1.5%	▲54	13,694	+249	+1.9%
産機・軸受	3,580	3,660	+79	+2.2%	+3	3,657	+76	+2.1%
工作機械	1,862	1,980	+117	+6.3%	+1	1,979	+116	+6.2%
その他	27	20	▲7	▲26.0%	+0	20	▲7	▲26.0%
工作機械	1,889	2,000	+110	+5.8%	+1	1,999	+109	+5.8%
合計	18,915	19,300	+384	+2.0%	▲50	19,350	+434	+2.3%

売上収益

ステアリング	299	280	▲19	▲6.6%	+4	276	▲23	▲8.0%
駆動	150	175	+24	+16.3%	+1	174	+23	+15.6%
自動車	450	455	+4	+1.0%	+5	450	+0	▲0.1%
産機・軸受	126	145	+18	+14.3%	+5	140	+13	+10.4%
工作機械	179	185	+5	+3.3%	+1	184	+4	+2.8%
その他	▲31	▲35	▲3	-%	+0	▲35	▲3	-%
工作機械	147	150	+2	+1.8%	+1	149	+1	+1.1%
消去	4	0	▲4	-%	+0	0	▲4	-%
合計	728	750	+21	+2.9%	+11	739	+10	+1.4%

事業利益

4-9) 利益推移



※ ~2018年度：J-GAAP 2019年度～：IFRS



【将来見通しに関する注意事項】

本資料には、業績予想、将来予測に基づく計画、戦略の記述が含まれています。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績は記載内容とは異なる可能性があります。